

子どものころに読んだ思い出の一冊

野口英世
 神戸淳吉 (著)
 吉井 忠 (画)
 講談社 (1987/11)
 まずしい農家に生まれた野口英世が、手に大やけどをした体で、一步一步、目標に向かって突き進むお話です。

小さい頃に読んで手を火傷したことがまずショックでした。しかしこのことには負けず医学の研究に励み、人々のために活躍したことに心打られました。

澤口 雅彦選手

ぐりとぐら
 なかがわゆりこ (さく)
 おおむらゆりこ (え)
 福音館書店 (1967/1/20)
 日本だけでなく世界各国で愛され続けるふたごの野ネズミ「ぐり」と「ぐら」のお話。

就寝前に母が読んでくれた記憶があります。

仙石 廉選手

十五少年漂流記
 ジュール・ヴェルヌ (著)
 瀬川昌男 (訳)
 集英社 (1994/3/18)
 無人島で生き残るため力をあわせた少年たちの物語。

無人島に漂流した少年達が力を合わせて生活していくことにわくわくしました。

竹田 忠嗣選手

かいぞくポケット
 寺村輝夫 (作)
 永井郁子 (絵)
 あかね書房 (1989/06)
 ある日とつぜん「ポケット ケポット トツポケット」というじゅもんでかいぞくになったポケットのぼうけんのお話。

全然本を読まなかったけど、このシリーズだけはスラスラ読めました。

久木田紳吾選手

てぶくろ
 ウクライナ民話
 エフゲーニー・M・ラチョフ (絵)
 内田好寿子 (訳)
 福音館書店 (1965/11/1)
 雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへ、カエルやウサギやキツネが次々やってきて手袋は…。

小さい頃に絵がインパクトがあってよく覚えています。大人になって子どものために読む機会があったのですが、やはりインパクトがありました。

岸田 裕樹選手

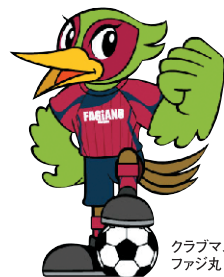
シートン動物記
 アーネスト・T・シートン (著)
 今泉吉晴 (訳)
 福音館書店 (2003/6/20)
 アメリカの博物学者シートンが自身の体験などを基に書いた動物物語。

学校の図書館で借りては読みを繰り返していました。実際にはシートンの著作物に対する日本での総称であるということは最近知りました。

影山 雅永監督



www.fagiano-okayama.com
THE DREAM TO CHILDREN



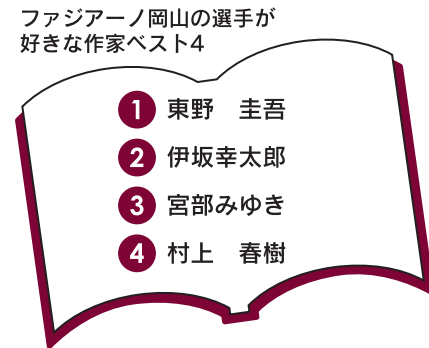
クラブマスコット ファジ丸

津山市立図書館では、ファジアーノ岡山の協力のもと、監督・選手のおすすめ本リストを作成し、本の展示等を行っています。

今回のおすすめ本リストでは、特に小・中学生の方に本を読むきっかけにしてほしいと考え、「子どものころに読んだ思い出の一冊」「今、心の支えにしている一冊」「サッカー少年・少女にすすめるこの一冊」を推薦していただきました。

このブックリストが、サッカーに興味のなかった子どもたちがスタジアムに足を運ぶきっかけとなり、また、本と出会うきっかけにしたいと思います。

津山市立図書館とファジアーノ岡山のコラボレーションによって生まれたこのブックリストをぜひ活用ください。



- ファジアーノ岡山の選手が好きな作家ベスト4
- 1 東野 圭吾
 - 2 伊坂幸太郎
 - 3 宮部みゆき
 - 4 村上 春樹

ファジアーノ岡山クラブ概要

- 会社名 株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
- クラブ理念 子どもたちに夢を!
- チーム名の由来 ファジアーノとはイタリア語で「キジ(雉)」の意味。キジは岡山県を代表する鳥として、県鳥に指定されています。また、郷土に古くから伝わる桃太郎伝説でキジが鬼退治に活躍したことにちなみ命名。
- ホームタウン 岡山市、倉敷市、津山市を中心とした岡山県全域

子どもたちに夢を!

選手が手に持っている本の紹介

かいじゅうたちのいるところ

かいじゅうたちのいるところ
 モーリス・センダック (著)
 じんくうてるお (訳)
 富山房 (1975/12)
 ある晩、マックスはおおかみのぬいぐるみを着ると、いたずらをはじめとおおあばれ。とうとう寝室にほうりこまれた。すると、寝室にはよきりによきりと木がはえだして…。

エルマーのぼうけん

エルマーのぼうけん
 ルース・スタイルズ・ガネット (著)
 ルース・クリスマン・ガネット (絵)
 わたなべしげお (訳)
 福音館書店 (1989)
 ゆうかんな男の子エルマーは、どうぶつ島にとらえられているかわいそうなりゆうつの子を助けるため、リュックをしょってでかけます。



1 澤口雅彦

21 真子秀徳

7 妹尾隆佑

18 竹田忠嗣

津山市立図書館のマスコットキャラクター こんちゃん

おいしいのぼうけん

おいしいのぼうけん
 ふるたたるひ (さく)
 たばたせいいち (え)
 福音館書店 (1989)
 さくらほいくえんにはかわいいものが二つあります。ひとつはおしいれで、もうひとつはねずみばあさんです。ある日、いたずらをやめなかったさととあざらはおしいれにいれます…。

読みたい本が見つからない時は、としょがんで探してみても。

サッカー少年・少女にすすめるこの一冊

蹴りたい言葉
 いとうやまね (著)
 コスミック出版 (2007/11/17)
 サッカー名言集。名言の語られた背景や選手のプロフィール等も紹介しています。

数多くのサッカー選手が残した名言を一冊にした本。

竹田 忠嗣選手

やめないよ
 三浦和良 (著)
 新潮社 (2011/1/14)
 「キング・カズ」のサッカー人生が詰まっている一冊です。

ふとしたときに読んでみると自然とモチベーションがわいてきます。

サッカーへの情熱が伝わります。

真子 秀徳選手

ドリブル
 前園真聖 (著)
 ベースボールマガジン社 (1996/6)
 アトランタオリンピックのサッカー日本代表の中心選手であった著者の青春物語。

はじめて読んだサッカー選手の本でとても印象に残っています。

近藤 徹志選手

心を整える。
 勝利をたぐり寄せるための56の習慣
 長谷部誠 (著)
 幻冬舎 (2011/3/17)
 「心は鍛えるものではなく、整えるものだ」という著者の心情が綴られています。

サッカー選手の普段わからないところが書かれています。

サッカーだけでなく人生のためになる本です。

小林 優希選手 妹尾 隆佑選手

信じるチカラ バク・チソン自伝
 朴 智星 (著)
 武田ランダムハウスジャパン (2007/7/31)
 韓国時代は無名サッカー選手だった著者がヨーロッパ・プロリーグで活躍・成功するまでの自伝。

アジアからマンUのプレーヤーになった選手の考え方は参考になります。

久木田紳吾選手

日本男児
 長友佑都 (著)
 ポプラ社 (2011/5/25)
 長友選手のこれまでの軌跡が綴られたサクセス・ストーリー。

小学生時代からの努力が書かれているので、小さいときに読むと良い刺激になると思います。

久木田紳吾選手

龍時 リュウジ
 野沢 尚 (著)
 文藝春秋 (2002/04)
 本格サッカー小説。全国的に無名だった主人公リュウジが大活躍。

サッカー小説はあまり読まないのですが、この本は面白かったです。

仙石 廉選手